平成30年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の 奨学金募集一覧 (9月6日 現在)

(下記各団体からの「募集案内」は、総合研究棟Ⅱ 1階の 学生支援チーム ①番窓口 で見ることができます。)

| 奨 学 団 体 等 | 必 要 資 格 | 支援機構 奨学金 との重複 | 対 象 学 年 (注意:平成30年4月時点の学年) | 金額 | 給付・貸与 の別 | 募集人員(全国で) | 募集要項 の <請 求 先> | 申請書類 の <提 出 先> | 提出期限 |
|---|---|---|--|--|--------------------|---|---|--|---|
| 社会福祉法人 さぽうと21 2019年度 「坪井一郎・仁子学生支援プログラム」 | 日本在住の外国籍・元外国籍の学生で、下記の①・②に該当する者 ①難民(インドシナ難民・条約難民・第三国定住難民)及びその子弟 ②中国帰国者三世、日系人(中南米など)二世 | 可 (「生活支 援プログラ ム」と同じ 年度にこ 給する可・研 願は可) | 2019年4月に大学3・4年生、または大学院在籍・進学見込の者 | 大学院生:60~100万円 (年額) 大学生:40~80万円 (年額) | 給付 | 10名程度 | 社会福祉法人さぽうと21 坪井一郎・仁子 学生支援プログラム ホームページ(リンク) | 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2ミズホビル6階 社会福祉法人さぼうと21 「坪井一郎・仁子 学生支援プログラム」 受付係 | 11月5日 (応募書類必着) |
| さぽうと21 2019年度 pp奨学金 (パチンコ・パチスロ奨学金) | 1)日本に在住する以下のいずれかであること ①日本国籍を有する者 ②永住者* ③特別永住者* 2)2019年度に国内の大学院、大学、短期大学、専門学校、高等専門学校への進学 予定者もしくはすでに在籍している者 3)経済的な理由で就学が困難な者 4)学業優秀であること 5)自らの研究もしくはこれからの研究に関する、未来への夢やビジョンを明解に語る ことができること 6)py奨学金の広報に積極的に協力できること(当サイトやPP各店のポスターといっ た様々な広報機会において、個人が特定されない範囲で顔写真、学校名等の掲載を 了承できる者) * 永住者は「出入国管理及び難民認定法」に基づき、特別永住者は「出入国管理及 び難民認定法」、「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱したもの等の出 入国管理に関する特例法」に基づいています。 | | 平成31年4月現在で大学生 もしくは大学院生である者 | 月額 2~5万円 | 給付 | 20~30名 | pp奨学金運営事務局 ホームページ(リンク) | <u>〒104-0045</u> 東京都中央区築地 <u>3-2-5</u> 第2平和田ビル3F TEL. 03-5825-4200 _{DD} 奨学金運営事務局 | 9月15日~ 10月31日 (応募書類必着) |
| 林レオロジー記念財団 | 1)未来に役立つ理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI技術・IT技術・制御工学等の自動製造ステムに関する学問を習得又は学術研究を志す工学部・理工学部系の大学院生及び大学生。もしくは「食品産業に関する」農水産学部・生命科学部系統の大学院生及び大学生を対象とし、かつ以下の①~③の全てを満たしている者。 ①平成31年4月に大学3年もしくは4年に進級する人、または大学院前期(修士課程)の1年生に進学を希望する人もしくは大学院前期(修士課程)の2年生に進級する人。②品行方正で学習意欲の高い人。③学業成績が一定水準以上の人。 2)前年度応募者及び前年度奨学生も応募資格を有するものとする。 3)他の奨学金制度に応募し、又は他の奨学金制度を現に利用している場合であっても、応募資格を有するものとする。 | 可 | 平成31年4月現在で 学部学生 3~4年生 大学院修士課程 1~2年生 | 学部学生 月額3万円 大学院生 月額5万円 | 給付 | 学部学生 各学部 2名程度 大学院生 各研究科 2名程 度 | 大学 (学生支援チーム) | 大学 (学生支援チーム) | 11月16日 17:00厳守 |
| 山口県高度産業人材確保事業に係る 奨学金返還補助制度 | 修了等ののち、山口県内の製造業(製造業を営む企業の山口県内の事業所)で6年間就業すれば、貸与を受けた2年分の奨学金の全額を補助します。なお、補助金は毎年度、勤務実績に応じで交付します。 | 返還支援 | 理系大学院 修士 1年生 | 対象者に決定してから 2年間での借用金額の 返還を補助 (上限有。日本学生支援 機構のものには限らな い) | 給付 | 15名程度 | 山口県産業戦略部 プロジェクト企画推進室 ホームページ(リンク) | 山口県産業戦略部 プロジェクト企画推進室 ホームページ(リンク) | 8月27日~ 10月5日 (応募書類必着) |
| 三重県 (奨学金返還支援制度) | 以下のすべてに該当する者 1. 申請時に最終学年の1年前の学年以上の在学生で、就職先が決まっていない者 2. 指定地域への定住を希望する者 ※指定地域は募集要項に記載 3. 常勤雇用または個人事業主として就業する予定の者(ただし公務員は除く。) 4. 日本学生支援機構第一種奨学金又はこれに準ずる奨学金を借り入れ、返還予定の者 5. 平成30年3月31日時点で35歳未満の者 | 返還支援 | 学部2年生以上 大学院1年生以上 | 在学中に 借受予定の奨学金 総額の1/4 (上限100万円) | 返還支援 | 20名 | 大 学 (学生支援チーム) | 三重県戦略企画部 ホームページ(リンク) | 1月11日 (17時) (応募書類必着) ※郵送の場合は配 達証明郵便を使用 すること |
| 似鳥国際奨学財団 | 1: 日本国籍を有する者 2:2019年4月1日より学部課程の2.3.4年生に正規生として在籍する者。 ※6年制大学の、5年、6年に正規生として在籍する者も応募可能。 ※ただし、「修士」・「博士」・「全日制以外の学生」・「短期大学生」は応募対象外とする 3:学業、人物共に優秀であり、健康である。国際理解と国際間の有効親善に寄与できる者。 4:①当財団は他給付型奨学金との二重受給は認めない。ただし、貸与型奨学金並びに大学の授業料減免は認める。 ②当財団奨学金と他給付型奨学金に同時に合格した場合には、どちらの奨学金を受給するかを選択する。 ③当財団奨学金と同時に他給付型奨学金を受給した場合には、直ちに当財団の 奨学生資格が取り当され、重複期間中の奨学金を受給した場合には、直ちに当財団の | 給付型 学金可型 貸与金 で 受力を で で で で で で の で の で の で の で の で の で の | 平成31年4月に日本国内の 大学の2.3.4年に在籍・ 在籍予定の日本人学生 | 自宅生 5万円 (月額) 自宅外生 (月額) | 給付型 (1年間支 給) | 50名 | <u>似鳥国際奨学財団</u> ホームページ(リンク) | 似鳥国際奨学財団 ホームページ(リンク) にてWEBエントリー | 11月18日 (締切が早まる可能性があるので、早めのエントリーを推奨) |

| 奨 学 団 体 等 | 必 要 資 格 | 支援機構 奨学金 との重複 | 対象学年 (注意:平成30年4月時点の学年) | 金額 | 給付・貸与 の別 | 募 集 人 員 (全国で) | 募集要項 の <請 求 先> | 申請書類 の <提 出 先> | 提出期限 |
|-------------------|---|--|---------------------------|--------------------|----------------------|------------------|--------------------------------|---|------------------------|
| (財)交通遺児育英会 | 保護者等が自動車事故や踏切事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い 後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生 ※応募時に25歳以下の者 | 可 | 大学院生(在学) | 月額 5万,8万,10万円 | 貸与 (無利子) | 20名 | 財)交通遺児育英会(リンク | (財)交通遺児育英会 2. 提出期限の1週間前までに 大学に推薦書の作成を 依頼すること | 10月31日 |
| | | | 大学院予約(学部最終学年) | | | | | | (1次)8月31日 (2次)1月31日 |
| | | | 学部生 | 月額 4万,5万,6万 円 | | 300名 | | | 10月31日 |
| みえ医療福祉生活協同組合津生協病院 | 日本全国の医科大学・大学医学部に在籍する医学生 | 卒業後の 進路に指 定のある奨 学金との重 複は不可 | 医科大学・大学医学部の 学部生 | 月額 10万円 月額 15万円 | 貸与 (返還免除 制度あり) | 記載なし | 津生協病院 ホームページ(リンク) | 津生協病院 ホームページ(リンク) | 随時 |

※ 掲 示 期 限 : 平成31年1月31日 (それ以前に 内容更新があった場合は、その更新 (差替え) 時 まで)

は新着情報です。